

お知らせ (その I)

わが国の Dosimetry Cross Sections に
関する活動の報告について

京大原子炉実験所 木村逸郎

Euratom の原子炉線量評価ワーキンググループは、各種材料試験炉、軽水炉、高速増殖炉等の材料の照射損傷に関連する線量評価法の確立をめざして活潑に活動しており、米国 ASTM の同種グループと共催した国際会議を定期的に開催しています。また、原子炉線量評価に関する News Letter の発刊も行っております。

日本原子力学会原子炉線量評価研究専門委員会は、昭和52年春、東大関口晃教授を主査として発足し、研究活動を継続してきていますが、Euratom の原子炉線量評価グループから、上記 News Letter に、日本の研究の紹介を依頼され、既にいくつかの紹介記事を送っております。ところで、今般その一環として、わが国の Dosimetry Cross Sections に関する研究活動の紹介を行うことを予定していますので、関連分野の研究をされている方からの連絡をお待ちしています。

記

1. 送り先 ; 〒590-04 大阪府泉南郡熊取町
京都大学原子炉実験所原子炉核特性部門 木村逸郎 宛
 2. 期 限 ; 昭和54年6月16日(土)必着
 3. 内 容 ; 原子炉の線量評価に関連した(直接間接を問いません) Dosimetry Cross Sections について
 - (1) 断面積の測定
 - (2) 断面積の計算
 - (3) 断面積の収集と評価
 - (4) その他、断面積に関すること
 4. 文献リスト
- できましたら、文献別刷をお願いいたします。